

宮城県感染症発生動向調査情報(第2週)

宮城県【平成25年01月17日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2013.1.7 ~ 1.13 ・ 第2週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保 健 所										宮 城 県 (含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市	患者数	累計	第51週	第52週	第1週	第2週
水痘	20 4.00	25 2.50	14 2.80	5 2.50	3 1.00	14 2.80	11 5.50	59 2.27	151 2.60	151	◎ →	レ →	→	○
流行性耳下腺炎	2 0.40	12 1.20	4 0.80		2 0.67	24 4.80	3 1.50	10 0.38	57 0.98	57	○ →	レ →	→	○
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	36 7.20	49 4.90	45 9.00	21 10.50	29 9.67	115 23.00	19 9.50	195 7.50	509 8.78	509	◎ →	レ →	→	○
手足口病		1 0.10	1 0.20		3 1.00	3 0.60	1 0.50	10 0.38	19 0.33	19	○ →	レ →	→	
伝染性紅斑	5 1.00							1 0.04	6 0.10	6	→	→	→	
突発性発しん	3 0.60	5 0.50	8 1.60	2 1.00	3 1.00		1 0.50	19 0.73	41 0.71	41	○ →	レ →	→	○
ヘルパンギーナ							1 0.50	1 0.02	1 0.02	1	→	→	→	
インフルエンザ	79 9.88	137 9.13	65 8.13	4 1.33	37 7.40	94 11.75	45 11.25	367 8.74	828 8.90	828	◎ →	レ →	→	○
咽頭結膜熱	3 0.60	1 0.10		1 0.50				5 0.19	10 0.17	10	→	→	→	
流行性角結膜炎											→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16 3.20	25 2.50	3 0.60		2 0.67	18 3.60		29 1.12	93 1.60	93	◎ →	レ →	→	○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎	5 5.00		5 5.00	4 4.00		2 2.00	11 11.00	2 0.40	29 2.42	29	○ →	レ →	→	○
クラミジア肺炎(オウム病は除く)			2 2.00					2 0.17	2 0.17	2	→	→	→	
RSウイルス感染症	3 0.60	6 0.60			1 0.33			4 0.15	14 0.24	14	レ →	レ →	→	
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	4	5	2	1	1		3	14	14	：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 し：発生が少なくなっている傾向 【週報の詳細】宮城県保健環境センターのホームページ をご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/			

今週の全数報告疾病

*男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 塩釜管内 女性1名
 - 大崎管内 女性1名
 - 気仙沼管内 男性2名
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: 報告なし
- 5類感染症: ウイルス性肝炎
 - 大崎管内 男性1名
- 梅毒
 - 塩釜管内 男性1名
 - 石巻管内 男性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告 8例
(仙台市を含む基幹定点報告)

今週の感染症のコメント

- 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 -

【インフルエンザ】

石巻、気仙沼管内で注意報値を超えた。
先週の報告より急増し、仙南、塩釜管内でも注意報値に達する勢いで増加した。
また、インフルエンザによる入院患者報告やインフルエンザ様症状による学校の臨時休業も報告されていることから、本格的な流行期に入ったものと思われる。
インフルエンザに関する解説や予防法については、厚生労働省作成の下記「インフルエンザ一問一答」などを参考に
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/dl/leaflet20110208_01.pdf

【感染性胃腸炎】

石巻管内で警報値を超えた。
ノロウイルスに関する注意事項をまとめたリーフレットは下記厚生労働省のホームページへ
<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/03.html#link01-01>

【水痘】

気仙沼管内で警報値継続中。
仙南管内で注意報値を超えた。

【流行性耳下腺炎】

石巻管内で警報値継続中。

【病原体検出情報】

～保健環境センター～
感染性胃腸炎患者より
塩釜管内 第1週採取分 ノロウイルス(GII) 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～
第52週採取分 第1週採取分 第2週採取分
(12.24～12.30) (12.31～1.6) (1.7～1.13)

インフルエンザウイルス解析中 0件 1件 11件
RSウイルス 4件 1件 3件
アデノウイルス 1件 0件 0件
単純ヘルペスウイルス 1件 0件 0件

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2012年 第50週	17.2	25.9	19.0	8.6	5.2	6.9	8.6	3.4	3.4	0.0	1.7	58
第51週	23.3	26.2	10.7	7.8	8.7	7.8	8.7	1.0	2.9	1.9	1.0	105
第52週	25.0	23.5	9.1	9.1	9.1	12.9	4.5	3.0	3.0	0.0	0.8	132
2013年 第1週	26.2	19.2	11.0	6.4	10.5	6.4	5.8	9.9	1.2	0.6	2.9	172
第2週	23.3	21.0	8.6	5.4	9.5	9.5	8.9	5.9	4.1	1.9	1.7	828

インフルエンザ定点
インフルエンザ定
点は、内科定点と
小児科定点を合わ
せたもので、県全
体で93定点です。
宮城県:51定点
仙台市:42定点
合 計:93定点

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2012年第51週) (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別では群馬県(13.07)、佐賀県(8.63)、埼玉県(5.81)、沖縄県(5.69)、栃木県(5.41)が多い。RSウイルス感染症: 報告数は4,217例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約71%を占めている。咽頭結膜熱: 報告数は第45週以降増加が続いている。宮崎県(1.19)、山形県(1.17)、北海道(1.00)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 報告数は増加した。富山県(4.31)、石川県(4.17)、北海道(4.01)が多い。感染性胃腸炎: 報告数は2週連続で減少した。愛媛県(25.70)、香川県(25.27)、大分県(24.61)が多い。水痘: 報告数は第43週以降増加が続いている。宮崎県(5.56)、鹿児島県(3.85)、宮城県(3.79)が多い。手足口病: 報告数は2週連続で減少した。茨城県(1.48)、福島県(1.04)、石川県(1.00)が多い。伝染性紅斑: 報告数は減少した。岩手県(0.30)、愛媛県(0.24)、新潟県(0.20)が多い。百日咳: の定点当たり報告数は増加した。千葉県(0.09)、長崎県(0.07)が多い。ヘルパンギーナ: 報告数は増加した。千葉県(0.25)、新潟県(0.25)、香川県(0.23)が多い。流行性耳下腺炎: 報告数は増加した。宮城県(1.57)、山形県(1.57)、岩手県(1.43)が多い。マイコプラズマ肺炎: 報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。埼玉県(3.22)、宮城県(2.92)、青森県(2.83)が多い。